

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		フレンズ淡路				公表日	2025年 2月 17日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	1	不要なものは片付けています	配置換えでのスペースの確保を検討していきます		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	2	個々のスキルアップを目指します	募集をかけて人数を満たします		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	1	どこに何があるか説明はしています	配慮できるよう工夫します		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	1	清潔を保てるように掃除をします	毎日児童送迎後に掃除をします		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	1	スタッフルーム以外は入れます	必要に応じて認めます		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	1	何かあればすぐに情報共有します	PDCAサイクルを意識して業務に取り組みます		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1	送迎時の会話の中など機会を設けます	希望や意見があれば取り入れます		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	2	日々の会話の中など機会を設けます	希望や意見があれば取り入れます		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	業務改善に繋がられるように努めます	第三者評価機関の利用を検討していきます		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	2	研修の希望があるか聞いています	外部研修への参加を増やしたいです		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	1	作成できるように努めます	適切に作成していきたいです		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	2	1	作成できるように努めます	丁寧に行い、作成していきます		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	1	職員と話し合う機会を増やします	共通認識をし取り組みます		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	1	職員と話し合い共通の認識を持ちます	行っていけるよう努めます		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1	職員と話し合い共通の認識を持ちます	独自にアセスメントシートを活用します		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	1	支援内容について話し合います	支援内容は適切に設定されています		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	2	職員と話し合う機会を増やします	行っています		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	1	職員と話し合う機会を増やします	固定化しないよう工夫していきます		

適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2	1	確認して行います	丁寧に作成して行います
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1	連携して支援します	連携して支援します
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1	職員と話し合い情報を共有します	グループラインなどで共有します
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		日々の記録をつけています	記録を取り、支援につなげていきます
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	1	必要があれば見直します	必要に応じて計画の見直しをしていきます
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	2	1	支援に努めます	ガイドラインの総則を意識した支援を行います
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	2	1	やりたいことを聞いたり提案したりします	本人の意思決定に寄り添えるよう努めていきます
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	1	参加してもらい意見を聞きます	参加してもらい意見を聞きます
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1	連携を整えられるよう意識します	連携を整えられるよう意識します
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3		送迎時や電話等でできてます	送迎時や電話等でできてます
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	1	必要であれば、積極的に行っていきます	必要であれば、積極的に行っていきます
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1	必要であれば、積極的に行っていきます	必要であれば、積極的に行っていきます
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	2	機会を作れるように努めます	機会を作れるように努めます
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	2	機会を作れるように努めます	機会を作れるように努めます
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	1	参加できるときは参加します	参加できるときは参加します
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		送迎時やSNS等でしています	送迎時やSNS等でしています
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	機会を作れるように努めます	機会を作れるように努めます	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	1	丁寧な説明を心掛けていきます	丁寧な説明を心掛けていきます
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	1	丁寧な説明を心掛けていきます	必要に応じて機会をつくります
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	2	1	丁寧に説明しています	丁寧に説明しています
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	1	送迎時に様子などを聞いています	相談されたときは出来る限りのことはします

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	1	計画出来る様努めます	計画出来る様努めます
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	1	何かあればすぐに連絡しています	迅速なLINEでの情報共有と記録の作成を行っています
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	1	必要に応じてSNSを使用しています	必要に応じてSNSを使用しています
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		本人や保護者に確認しています	出来る限り注意しています
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	1	出来る限り注意しています	出来る限り注意しています
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2	計画出来る様努めます	計画出来る様努めます
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	2	訓練の実施に努めます	訓練の実施に努めます
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	1	行っています	これまで通り行っていきます
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3		保護者詳しく確認しています	アセスメントシートや保護者に聞いて確認しています
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		必要であれば対応します	アセスメントシートにて確認していきます
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	1	必要な限り行います	作成された安全計画に基づいています
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	1	取り組みについて理解を深めます	緊急時の取り組みについてのお知らせを配布します
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		職員や本人と保護者と話し合います	ヒヤリハットを確認してもらいます
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	1	職員同士で共通認識を持ちます	スタッフ全員が参加する研修の機会を作っていきます
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	1	本人や保護者に説明しています	記載しています	

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 フレンズ淡路

公表日 2025年 2月 17日

利用児童数 2025年 2月 17日

回収数 6

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	1		2		保護者様に来ていただく機会を作り見ていただきます
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。		2	3	1		スタッフ不足を解消出来る様に募集などかけて補います
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3	1		2		保護者様に来ていただく機会を作り見ていただきます
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	2	3		1		保護者様に来ていただく機会を作り見ていただきます
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	1		3		これまで以上に支援を意識していきます
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1	1		4		プログラムを意識して支援します
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3	1		2		理解を深められるように意識していきます
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	1	1	2		説明し理解を深められるように意識します
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2	2		2		計画に沿った支援を意識して行きます
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3		2	1		季節のイベントなど取り入れ工夫します
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。			3	3		機会を増やせるように努めます
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3	2		1		丁寧な説明を心掛けます
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3	2		1		丁寧な説明を心掛けます
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	3		1		機会を作るよう検討します
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	4	1		1		理解を深められるように意識していきます
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		3	2	1		出来る限りのことを出来る様意識します
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	2				出来る限りのことを出来る様意識します
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		3		3		機会を作るように努めます	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	2	1	1		適切に対応できるよう努めています
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3	2		1		配慮がなされているか、振り返りも含め対応していきます
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。		3		3		自己評価の開示はホームページと事業所内に掲示する予定です
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	1		1		適切に取り扱っていきます
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	1		3		機会を作れるように努めます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	1		3		訓練を取り組めるように意識します
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	1		1		安心して通所出来る様努めます
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6					何かあればSNSや電話などですぐに連絡します
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5	1				安心して通所出来る様努めます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6					一番は楽しめる居場所であることを意識して努めています
	29	事業所の支援に満足していますか。	4	2				保護者様の声に真意に向き合いより満足していただけるよう努めています

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	フレンズ淡路		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 20日		～ R7年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	R7年 1月 20日		～ R7年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童が楽しんで来所している	本人の希望に沿った支援をしている	本人の楽しめることを提案したりする
2	保護者が安心して通所させている	日頃からよくコミュニケーションをとっている	相談事などを話しやすくしている
3	学校との連携が出来ている	日頃からよくコミュニケーションをとっている	その日の出来事や問題などを共有している

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人手不足なところ	出来ることが限られてしまう	募集をかけて人数をふやす
2	地域交流が少ない	人員不足で計画が立てづらい	募集をかけて人数をふやす
3	専門的な支援ができない	支援の幅が狭い	勉強会や資格の取得などの機会を作る

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		フレンド淡路				公表日 2025年 2月 17日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	1	不要なものは片付けています。	配置換えでのスペースの確保を検討していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	2	個々のスキルアップを目指します。	募集をかけて人数を満たします。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	1	どこに何があるか説明はしています。	配慮できるよう工夫します。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	1	清潔を保てるように掃除をします。	毎日児童送迎後に掃除をします。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	1	スタッフルーム以外は入れます。	必要に応じて認めます。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	1	何かあればすぐに情報共有します。	PDCAサイクルを意識して業務に取り組みます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1	送迎時の会話の中など機会を設けます。	希望や意見があれば取り入れます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	2	日々の会話の中など機会を設けます。	希望や意見があれば取り入れます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	業務改善に繋がられるように努めます。	第三者評価機関の利用を検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	2	研修の希望があるか聞いています。	外部研修への参加を増やしたいです。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	1	作成できるように努めます。	適切に作成していきたいです。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	2	1	作成できるように努めます。	丁寧に言い、作成していきます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	1	職員と話し合う機会を増やします。	共通認識をし取り組みます。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	1	職員と話し合い共通の認識を持ちます。	行っていけるよう努めます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1	職員と話し合い共通の認識を持ちます。	独自にアセスメントシートを活用します。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	1	支援内容について話し合います。	支援内容は適切に設定されています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	2	職員と話し合う機会を増やします。	行っていきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	1	職員と話し合う機会を増やします。	固定化しないよう工夫していきます。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	2	1	確認して行います。	丁寧に作成して行います。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1	連携して支援します。	連携して支援します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1	職員と話し合い情報を共有します。	グループラインなどで共有します。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		日々の記録をつけています。	記録を取り、支援につなげていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	1	必要があれば見直します。	必要に応じて計画の見直しをしていきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	1	参加してもらい意見を聞きます。	参加してもらい意見を聞きます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1	連携を整えられるよう意識します。	連携を整えられるよう意識します。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1	必要であれば、積極的に行っていきます。	必要であれば、積極的に行っていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1	必要であれば、積極的に行っていきます。	必要であれば、積極的に行っていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	1	機会を作れるように努めます。	機会を作れるように努めます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	1	機会を作れるように努めます。	機会を作れるように努めます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		送迎時やSNS等でしています。	送迎時やSNS等でしています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	機会を作れるように努めます。	機会を作れるように努めます。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	1	丁寧な説明を心掛けていきます。	丁寧な説明を心掛けていきます。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	1	機会を作れるように努めます。	機会を作れるように努めます。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	2	1	丁寧に説明している。	丁寧に説明している。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	1	送迎時に様子などを聞いています。	相談されたときは出来る限りのことはします。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	1	計画出来る様努めます。	計画出来る様努めます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	1	何かあればすぐに連絡しています。	迅速なLINEでの情報共有と記録の作成を行っています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	1	必要に応じてSNSを使用している。	必要に応じてSNSを使用している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		本人や保護者に確認しています。	出来る限り注意している。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	1	出来る限り注意している。	出来る限り注意している。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2	計画出来る様努めます。	計画出来る様努めます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	2	訓練の実施に努めます。	訓練の実施に努めます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	1	行っています。	これまで通り行っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		保護者詳しく確認する。	アセスメントシートや保護者に聞いて確認しています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		必要であれば対応します。	アセスメントシートにて確認していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	1	必要な限り行います。	作成された安全計画に基づいています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	1	取り組みについて理解を深めます。	緊急時の取り組みについてのお知らせを配布します。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		職員や本人と保護者と話会います。	ヒヤリハットを確認してもらいます。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	1	職員同士で共通認識を持ちます。	スタッフ全員が参加する研修の機会を作っていきます。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	1	本人や保護者に説明しています。	記載しています。	

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	フレンズ淡路		
○保護者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	R7年 1月 20日		～ R7年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童が楽しんで来所している	本人の希望に沿った支援をしている	本人の楽しめることを提案したりする
2	保護者が安心して通所させている	日頃からよくコミュニケーションをとっている	相談事などを話しやすくしている
3	安全に気を付ける	危険がないように配慮する	楽しく安全について理解を深める配慮をする

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人手不足なところ	出来ることが限られてしまう	募集をかけて人数をふやす
2	地域交流が少ない	人員不足で計画が立てづらい	募集をかけて人数をふやす
3	専門的な支援ができない	支援の幅が狭い	勉強会や資格の取得などの機会を作る